

事務事業実績測定調査

事務事業名称													オリンピック・パラリンピック関連事業(広報プロモーション課)												
測定年度				2021(R3)年度				部		市長公室				課		広報プロモーション課									
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		○		R3		R4											
総合計画体系				基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																	
				施策目標				17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち																	
				実行計画名																					
1. 事務事業の概要																									
種類		市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業									
事業期間		2021(R3)年度				年度		~		2021(R3)年度				年度まで											
根拠法令等		決裁																							
関係補助金名称		サンセット																							
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット		これからスポーツに興味を持つまたは現在継続的にスポーツを実施しているあらゆる世代の市民																					
		サブターゲット		スポーツ以外の分野に興味を持つあらゆる世代の人たち																					
		ターゲットが抱える課題		国内で開催される国際的なスポーツイベントを身近に感じられる機会が不足しているため、機運の醸成が高まり難しい。																					
		ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		2020東京オリンピックにおいて、枚方市内を聖火ランナーが走り、また、オリンピック大会が日本で開催されることから、これらのイベントを通じ、オリンピック開催に向けた機運醸成が図られており、誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまちが実現されている。																							
事業概要		<p>①ひらかた聖火イベント業務委託 聖火リレーが、本市を経由地の一つとすることを踏まえ、多くの市民が東京オリンピックと聖火リレーに共感し参加することで、夢や希望・感動を抱く契機となることや機運醸成を目的として、聖火リレーに合わせた「ひらかた聖火イベント」や聖火リレー開催前後に実施する「ウエルカムプログラム・ミニセレブレーション」を実施するためのもの。</p> <p>②ひらかた聖火イベント司会・台本作成業務委託 ひらかた聖火イベントにおいて、枚方市ゆかりの聖火ランナーが走行することや枚方市PR大使の演出等、枚方市の歴史やこれまでの情勢等を踏まえた、イベントの台本作成や地域に密着した効果的な情報の発信をおこなう。</p> <p>③ひらかたインフィオーラータ業務委託 聖火リレーのゴール地点であるニッペパークに花びらを使用した花絵を床面または壁面に制作する。市民ひとりひとりが花びらを置く作業により、行政と市民が共に協力し合って聖火リレー会場を作り上げる市民参加型イベントである。</p>																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
		参加者のスポーツへの関心が高まる。				イベントに人が集まる。				ひらかた聖火イベントを実施する。															
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
		指標説明		ひらかた聖火イベント参加人数				ひらかた聖火イベント目標参加人数				ひらかた聖火イベント実施日数													
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標													
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5							
		目標(見込み)		-		1,450		-		-		-		4		-		-							
実績		-		0						-		0													
達成度						0%				0%															
分析		新型コロナ感染拡大のためイベントは中止した。				新型コロナ感染拡大のためイベントは中止した。				新型コロナ感染拡大のためイベントは中止した。															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	3,929		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	3,929		
	物件費計	—	—	1,936	4,036	48%
	歳出計	—	—	5,865		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
		歳入計	—	—	0	0
	一般財源	—	—	1,936	4,036	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大のためイベントは中止した。
-------	----------------------------

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	単年度イベントのため令和4年以降は実施しない。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	FM放送活用事業											
測定年度	2021(R3)年度				部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名		計画推進1-1.広報・広聴活動の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	1997(H9)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	インターネットで情報を取得できない人。地域に密着した情報をラジオで取得したい人。カーラジオでFMを聴く人。				
	サブターゲット	災害時インターネットが使えない状況になった場合にラジオを聴く人。				
	ターゲットが抱える課題	市ホームページや公式ツイッターなどによる即時性のある情報を収集できるスキルがないため行政情報を手に入れることが困難。災害時にもインターネット上の情報を受け取ることが困難。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	平時は、コミュニティFM局として年間を通じて放送を行い、地域情報、市政情報などを市民に提供できている状態。災害や緊急時には、防災行政無線の内容や被害状況、災害に関連する注意喚起等を放送することにより市民の安全確保と不安軽減を図る体制が整っている状態。					
事業概要	平常時は市の提供番組としてイベント情報や教育、防災の取組、市民活動の紹介など1日あたり2時間30分の番組制作・放送委託を行う。また災害や緊急時は「緊急放送に関する協定」に基づき災害状況や交通情報などを割り込み放送により注意喚起を行う。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	地域情報、市政情報などを市民に提供できる。				アウトプット(活動結果)	1日あたり2時間30分の市の提供番組が放送される。				インプット(活動)	平時は、コミュニティFM局としてFM放送を行う。			
	指標説明	スマホアンケートでFMひらかたを聞いたことがあると答えた人の割合 【FMひらかたを聞いたことがあると答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】				市政情報等を放送した時間数				コミュニティFM局として平時のFM放送を行った日数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	80	80	80	80	950	950	950	950	366	365	365	365		
	実績	29	29			947	1,030			366	334				
	達成度	36%				108%				92%					
分析	令和3年度スマホアンケート未実施のため、実績値は、令和2年2月に独居高齢者向けに行ったアンケート結果による。				防災、教育、安全安心、環境、地域活動などについての15分番組や、警報発令時の緊急情報や、新型コロナウイルス感染症関連情報についての放送を実施。				緊急情報のみを放送する大規模災害等がなかったことから、2月末の最終放送までの334日間FM放送を実施できた。						
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	地域情報、市政情報などを市民に提供できる。				アウトプット(活動結果)	災害や緊急時に、行政防災無線の内容や被害状況、災害に関連する注意喚起等を放送できる。				インプット(活動)	災害時にFM放送を活用する環境を整える。			
	指標説明	スマホアンケートでFMひらかたを聞いたことがあると答えた人の割合 【FMひらかたを聞いたことがあると答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】				災害時緊急放送(台風・地震等)の回数				災害訓練放送の実施回数					
指標設定②	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	80	80	80	80	50	50	50	50	36	36	36	36		
	実績	29	29			900	845			36	33				
	達成度	36%				1690%				92%					
分析	令和3年度スマホアンケート未実施のため、実績値は、令和2年2月に独居高齢者向けに行ったアンケート結果による。				年間を通じた新型コロナ関連情報の発信により、目標値を大きく上回った。				2月末で閉局したため、予定回数を下回った。						

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,009	1,994	1,964		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,009	1,994	1,964		
	物件費計	50,462	50,000	48,438	50,000	97%
	歳出計	54,471	51,994	50,402		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	999	982	998	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	999	982	998	
	一般財源	54,471	49,001	47,456	49,002	

5. 総括的分析

総括的分析	平常時の市政情報発信のほか、新型コロナウイルス感染症関連情報などをタイムリーに発信した。なお、令和2年6月に同社への放送委託廃止を決定した後、放送局の存続に向け検討されたが実現には至らず、令和3年6月の定時株主総会において令和4年2月末に放送局の閉局を決定された。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	令和4年2月末をもって閉局され、本事業も終了となった。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ホームページ等活用事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます											
	実行計画名		計画推進1-1.広報・広聴活動の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1997(H9)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	インターネットによる情報収集が可能な人。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	広報紙の発行は月に1回であり、最新情報をリアルタイムでは取得できない。また、ページ数にも限りがあるため詳しい情報を知ることが困難。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	万全なセキュリティ対策とアクセス集中にも耐えうる通信体制が構築され、市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる状態。
事業概要	市政情報全般を随時更新して提供。トップページでは緊急情報や重要な市政ニュース、新着情報、イベント情報などを掲載するとともにバナーを活用して情報の入り口を掲載。市公式SNSを用いて幅広く情報を発信。

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる。	ホームページにて随時市政情報等を発信する。	ホームページによる情報発信を行える環境を整える。

指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	指標種類	市ホームページの年間ユーザー数	新規に作成または更新されたホームページ数	各課ホームページ担当者への研修、頼りになる広報課へのホームページに関する相談の合計
	指標数値	単位 件	単位 件	単位 件
	達成度	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	分析	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	分析	2,672,000 3,022,000 3,372,000 3,722,000	2,400 2,400 2,400 2,400	15 5 5 5
分析	4,564,048 5,338,957	2,611 2,808	38 32	
分析	177%	117%	640%	
分析	新型コロナウイルス関連情報など、最新情報の随時更新が頻繁にあったため、市ホームページから求める情報を取得する人が増加している。	昨年度と同水準の作成数で目標を上回っており、各部署において積極的な情報発信がなされたと考えられる。	ホームページ担当者向け研修は実施しなかったが、頼りになる広報プロモーション課への相談件数22件、庁内インスタグラム隊会議10回開催と、目標を大きく上回った。	

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる。	市SNSにて随時市政情報等を発信する。	市SNSによる情報発信を行える環境を整える。

指標設定②	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	指標種類	市ホームページの年間ユーザー数	市公式ツイッター・フェイスブック・LINEによる投稿数(自動発信を除く)	各課からの市公式SNS発信依頼件数
	指標数値	単位 件	単位 件	単位 件
	達成度	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	分析	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	分析	2,672,000 3,022,000 3,372,000 3,722,000	— 1,500 1,600 1,700	— 1,000 1,100 1,200
分析	4,564,048 5,338,957	— 2,655	— 1,395	
分析	177%	177%	140%	
分析	新型コロナウイルス関連情報など、最新情報の随時更新が頻繁にあったため、市ホームページから求める情報を取得する人が増加している。	毎日の新型コロナ感染情報などの発信に努め、目標を超える投稿数となった。	公式LINEの運用拡充で発信数が増大したこと等により目標値を超えた。	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,823	13,558	14,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	10,823	13,558	14,143		
	物件費計	5,022	5,269	17,218	19,901	87%
	歳出計	15,845	18,827	31,361		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	784	469	1,225	
	歳入計	0	784	469	1,225	
	一般財源	15,845	4,485	16,749	18,676	

5. 総括的分析

総括的分析 市ホームページトップページの緊急情報欄で新型コロナウイルス感染症関連の最新情報を土日祝を問わず随時発信に努め、また、市公式ツイッターのほか、カテゴリ別配信を開始した公式LINEを活用し、多様な情報をホームページと連動させ積極的に情報発信を行った。これらにより、市ホームページの年間ユーザー数は前年比で増加した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	情報を見つけやすく、見やすいホームページを目指して引き続き改善を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	機関紙コンクール等事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1976(S51)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	PTA、自治会、サークル団体の広報担当者として機関紙づくりをしている人。			
	サブターゲット	広報所管部署の職員。			
	ターゲットが抱える課題	地域媒体で広報担当になる人の多くは、紙面作りのノウハウがなく、スキルを学び、成果物に関して客観的な評価を得る機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自治会やPTA、サークルの機関紙の内容が充実し、作成者の広報力と満足度が向上するような広報スキルを学ぶ機会、発表する場がある状態。				
事業概要	①職員が講師となり5月に講習会(1回完結・全3回)を開催。②講習会の成果の発表の場としてコンクールを実施。12月に作品を募集し、1月に審査を実施(審査員は枚方記者クラブ記者や地域情報誌発行者など)。2月に表彰式と審査員による講評、展示会を開催。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	自治会やPTA、サークルの機関紙の内容が充実し、作成者の広報力と満足度が向上出来る。	自治会やPTA、サークルの広報担当者がコンクールに興味を持ち、参加する。	講習会を実施する。	
指標設定	指標説明	コンクール参加者へのアンケートで「参加して大変良かった」「良かった」と答えた人の割合 【算出式:「参加して大変良かった」「良かった」と答えた人の数/コンクール参加者×100】	コンクール参加団体数	講習会参加者数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 団体	単位 人
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	90 90 90 90	45 45 45 45	40 40 40 40
	達成度	0%	0%	0%
分析	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催せず。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催せず。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催せず。	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,207	1,994	1,964		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,207	1,994	1,964		
	物件費計	93	106	74	110	67%
	歳出計	3,300	2,100	2,038		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	3,300	106	74	110	

5. 総括的分析

総括的分析 自治会報づくりのノウハウを職員が講師となって市民に指導する機関紙作り講習会や、その成果発表の場である機関紙コンクールは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度に続けて中止となったが、「人と人とのつながり」をテーマに機関紙を募集し講評を行う機関紙コレクションを開催。22作品が集まり、広報ひらかたや市ホームページで紹介した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き市民活動の活性化のため講習会、出前講座への対応等に取り組む

事務事業実績測定調査

事務事業名称	広報ひらかた発行事務															
測定年度	2021(R3)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課					
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4								
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり													
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます													
	実行計画名		計画推進1-1.広報・広聴活動の充実													
1. 事務事業の概要																
種類	市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業	
事業期間	1951(S26)年度				年度	~								年度まで		
根拠法令等	決裁															
関係補助金名称												サンセット				
関係附属機関名称																
事業対象	メインターゲット		広報ひらかたから情報を取得している市民(在住外国人を含む)													
	サブターゲット															
	ターゲットが抱える課題		住んでいるまちの情報を定期的・確実に得る手段が必要													
	ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	全ての市民(在住外国人を含む)が、毎月の特集や市政ニュース、まちの話題、市民登場、枚方キッチンといったコーナーで、読んで楽しみ、お知らせ面では分類毎の掲載により知りたい情報を見つけやすいよう工夫した冊子から情報を入手できる状態。															
事業概要	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布するとともに、聴覚障害者向けに点字録音版も発行。内容はテーマを持って掘り下げた特集、市政ニュース、安心情報、各種イベントや求人・保険ガイドのお知らせ、まちの話題などをタイムリーに掲載。また、重要課題を分かりやすく情報提供するため、4ページの特集号を必要に応じて年度に1回発行。加えて、アプリの活用により広報紙の多言語対応を行う。															
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)					
	市民が住んでいるまちの情報を定期的・確実に得ることができる。					広報紙をすべての市民が入手できる。					広報ひらかたを発行する。					
指標設定	指標説明		アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)			
			スマホアンケートで広報ひらかたを「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人の割合【算出式:「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人数/スマホアンケート回答者数×100】					年間配布部数(通常号のみ)					年間発行回数(通常号のみ)			
			単位					単位					単位			
			%					部					回			
	指標種類		増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績		80	80	80	80	2,230,000	2,230,000	2,230,000	2,230,000	12	12	12	12		
達成度		114%					111%					100%				
分析		紙面をフルカラーにリニューアルするなど読みやすい広報紙づくりに努め、目標値を達成した。					市内事業者を含め、全戸配布を行った。					新型コロナウイルス関連情報の最新情報を掲載するよう努めながら、通常号を滞ることなく発行した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	2.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.39
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	20,844	21,533	18,071		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	829		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	20,844	21,533	18,900		
	物件費計	88,269	82,393	77,725	85,851	91%
	歳出計	109,113	103,926	96,625		
歳入	国庫支出金	1,666	1,719	1,983	2,967	
	府支出金	833	859	991	1,498	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	6,293	6,740	7,685	6,614	
	歳入計	8,792	9,318	10,659	11,079	
	一般財源	100,321	73,075	67,066	74,772	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症関連情報やワクチン接種情報を最優先とした紙面構成のもと、総合文化芸術センターの開館や子どもを守る条例、手話言語条例など市の重要施策をわかりやく伝える特集に取り組んだ。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き市の情報や魅力が伝わる紙面づくりを行うとともに、新型コロナウイルス感染症情報等重要なお知らせを最優先とした紙面構成に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	広報活動及び報道機関対応事務												
測定年度	2021(R3)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1960(S35)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	-
関係附属機関名称						

事業対象	メインターゲット	新聞やテレビなどのマスメディアから情報を得る人。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	特徴がある、あるいは話題となっている市の取り組みを特に知りたいが、広報紙では、すべからく情報が掲載されていてよくわからない。				
	ターゲットが抱える課題					

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	新聞などのマスメディアへの掲載を通じて広く市の取り組み等が市民等に伝わるよう積極的なプレスリリースや報道対応を行っている状態。				
---------------------------	---	--	--	--	--

事業概要	①定例記者会見(市長など市幹部が定例議会前の議案説明を中心に市政をPR。年4回実施)②レクチャー(担当部局が市の政策・事業の中で、ニュース性の高いものを随時、記者クラブで説明)③資料提供(説明までは必要のない市政情報を文書で提供)④広報課取材記事の提供(市政のPRとなるもの、地域の問題などを取材して写真と記事を提供)⑤各課に配置した広報担当職員を中心に、広報意識を高めて全庁的な情報発信力の強化を図る。				
------	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	広く市の取り組み等が市民等に伝わる。	市民が特徴がある、あるいは話題となっている市の取り組みを知る機会が増える。					プレスリリースを実施する。							
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明	スマホアンケートでメディア等で枚方市関連の記事を見たことがあると答えた人の割合 【枚方市関連の記事を見たことがあると答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】					プレスリリースがメディアに取り上げられた件数(延べ)				プレスリリース数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	達成度	83%					42%				99%			
分析	達成度は8割を超えているが、目標を達成するためにはより積極的なメディア向けPRが必要。					他市に例のない新たな取り組みなどのプレスリリースが少なかった等のため目標に達しなかった。				積極的なリリースによりおおむね目標は達成した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	13,629	14,754	11,786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	13,629	14,754	11,786		
	物件費計	3,246	1,692	3,250	5,050	64%
	歳出計	16,875	16,446	15,036		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	16,875	1,692	3,250	5,050	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、全庁的な情報発信意識の向上を図る研修等が実施できなかったが、動画による情報発信などを積極的に行うことができるよう、所管課の個別相談等にも対応した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き情報発信の意識を全庁的に高めていくための取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													市勢要覧発行事業			
測定年度		2021 (R3) 年度				部		市長公室			課		広報プロモーション課			
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり												
		施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます												
		実行計画名														
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス				特性			選択的事业			区分		一般事務事業		
事業期間		不明				年度		~				年度まで				
根拠法令等		決裁														
関係補助金名称												サンセット				
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		枚方市に関して知識のない市外の人。												
		サブターゲット		枚方市に関して知識のない外国人。												
		ターゲットが抱える課題		枚方市の概要について調べることが困難なため、簡潔に知る方法がほしい												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		枚方市のことをよく知らない人に対して市の施策や魅力が簡潔に伝わり、本市に興味や関心を持つ機会につながる冊子がある。														
事業概要		*平成28年3月に、市外の人に枚方市の魅力が伝わる内容を目指して全面改訂し、日本語版6000部、英語版、中国語版、韓国・朝鮮語版各1000部の合計9000部を作成。公共施設のほか、ひらかたパークやくずはモールなどの民間施設にも設置した。*報道機関等にも取り上げられたことや、ふるさと寄附金の返礼品への同封などから配布部数がさらに増加し、日本語版を平成28年度に12000部、平成29年度に12000部増刷した。*英語版、中国語版についても、市民の協力を得てフランスや上海のイベントでも配布されたことから平成30年度に英語版1000部、中国語版500部を増刷した。*平成30年度配布分については在庫により対応したため、作成(増刷)部数は外国語版1500部のみとなっている。														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		枚方市のことをよく知らない人に対して市の施策や魅力が簡潔に伝わり、本市に興味や関心を持つ機会につながる。				市外の方、および市内外の外国人の方に市の情報を提供できる。				日本語版、および外国語版の市勢要覧を発行する。						
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		指標説明		スマホアンケートで「大変良い」「良い」と答えた人の割合 【算出式:市勢要覧について「大変良い」「良い」と答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】		市勢要覧(令和2年度)配布部数		市勢要覧(令和2年度)発行・増刷部数								
		指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標								
		指標数値		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5								
		達成度		56%		83%		120%								
分析		アンケートで「読んだことがない」との回答がR2の76%から45%に改善したが、引き続き周知が必要な状況と考えられる。		ふるさと寄附の寄附金受領証明書のほか様々なPRイベント送付時に同封し配布を行った。		残部が少なくなったため増刷を行った。										

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,207	798	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	3,207	798	0		
	物件費計	2,044	0	196	200	98%	
	歳出計	5,251	798	196			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	5,251	0	196	200		

5. 総括的分析

総括的分析	ふるさと納税寄附金受領証明書に同封するほか、市内外のイベントなど多様な機会をとらえて来場者等に配布し、市のPRに活用した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き市外向けの配布を行い、市のPRに取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ひらかた便利帳発行事業											
測定年度	2021(R3)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名											
1. 事務事業の概要												
種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業			
事業期間	1978(S53)年度			年度	~			年度まで				
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		本市に暮らす市民、あるいはこれから暮らす市民。									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		市役所の手続きやごみの出し方、まちの医療機関についてなど、生活するうえで知りたい情報がほしい。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	行政情報だけでなく医療機関の情報など本市で生活するうえで必要な様々な情報を知る方法がある。											
事業概要	転入者に配布できるよう必要に応じ改訂版を増刷するとともに、定期的な全戸配布を目指す。平成2年から平成12年までは隔年全戸配布した。その後は財政面から転入者と希望者に配布。平成19年に市制施行60周年記念として9年ぶりに全戸配布。平成21年、26年にも民間企業と共同で経費を抑えて全戸配布。26年、29年、令和元年発行分については共同発行事業者を公募型プロポーザル方式で選定。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
		行政情報だけでなく医療機関の情報など本市で生活するうえで必要な様々な情報を知ることができ、満足度が向上する。	市民に全戸配布したうえで、転入者、および希望者に対しても、ひらかた便利帳を配布する。				ひらかた便利帳を発行する。					
指標設定		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標説明		スマホアンケートで便利帳が「とても便利」「便利」と答えた人の割合 【算出式:便利帳が「とても便利」「便利」と答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】	ひらかた便利帳2020配布部数				ひらかた便利帳2020作成部数					
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
指標数値		単位: %	単位: 部	単位: 部	単位: 部	単位: 部	単位: 部	単位: 部	単位: 部	単位: 部	単位: 部	単位: 部
達成度		R2: 80, R3: 80, R4: 80, R5: 80	R2: 187,000, R3: 3,000, R4: 3,000, R5: 3,000	R2: 200,000, R3: 0, R4: 0, R5: 0								
分析		令和3年度は冊子の改訂はなく新規転入者に現行冊子を配布した。そのため、当アンケートでは「使ったことがない」の割合が24%と多くなった。	市への転入者に対し、市民課窓口等で配布した。配布数は概ね予定どおりであった。				令和3年度は作成なし。					

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,612	798	0		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,612	798	0		
	物件費計	0	665	0	0	—
	歳出計	5,612	1,463	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	5,612	665	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は、市民課窓口等で転入者に在庫の便利帳を配布した。
-------	--------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和5年度の改訂版作成に向け事業を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	シティプロモーション推進事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます											
	実行計画名		計画推進1-1.広報・広聴活動の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	内部事務	区分	一般事務事業	
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	-
関係附属機関名称						

事業対象	メインターゲット	枚方市民、市内事業者、枚方市と関わりのあるあらゆる世代の人たち
	サブターゲット	メインターゲットを除く市外在住者
	ターゲットが抱える課題	枚方市への関心・興味が高くなく、市の魅力が伝わっていない。
	ターゲットが抱える課題	枚方市に愛着や思い入れはあるが、まちに関する情報が届いていない。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)
 市民と行政との関わりを深めながら、共に市の魅力を発信することでまちに対する関心が高まり、その関心の高まりがサブターゲットへと波及することで、市内外の幅広い人々に枚方市に対する興味・関心を持たれる。
 ひらかたプロデューサーズの取り組みが行政と市民の協働による新たな魅力・賑わいの創出につながるるとともに、市民それぞれのネットワークを通じた広範囲な情報の拡散、市の魅力の伝達が行われている。

事業概要
 ①枚方市PR大使…枚方市の魅力を情報発信していただき、イメージアップ及び交流人口の拡大を図る。
 ②ひこぼしくん…地域資源を活用したキャラクターを活用することにより、市全体のシティプロモーションの推進を図る。
 ③枚方市テーマソング関連…歌を通して人のつながりや広がりをつくるとともに、映像を活用しながら枚方市の魅力を発信する。
 ④ひらかたプロデューサーズとの取り組みを通して、行政と市民が枚方市のシティプロモーションを一緒に考えることで、協働のまちづくりの機運を高める。

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	取り組みが市内外に発信され枚方市に対する興味・関心を持つ。	まちの愛着や熱量の増加などにつながる枚方市PR大使や地域との取り組みが、より多くの人たちに枚方市の魅力を伝える。	まちの愛着や熱量の増加などにつながる枚方市PR大使や地域との関連イベントなどを実施し、枚方市の魅力をPRする。	
指標設定	指標説明	枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績(自発的な活動含む)のうち、新聞、テレビなどメディアに取り上げられた件数	枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携イベントに関わった人の総数	まちの愛着や熱量の増加などに向けた「枚方市PR大使」やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績件数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2: - R3: 5 R4: 5 R5: 5	R2: 300 R3: 300 R4: 300 R5: 300	R2: 11 R3: 15 R4: 16 R5: 16
	達成度	520%	132%	227%
	分析	パンサーズとの連携など特色ある取り組みを積極的PRし、多数のメディアに取り上げられた。	「この街が好き」をキーにした地域との連携による動画企画などを積極的に展開した。	「この街が好き」をキーにした地域との連携による動画企画などを積極的に展開した。
	単位	件	人	件
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
取り組みが市内外に発信され枚方市に対する興味・関心を持つ。	「ひこぼしくん」が民間のイベント等でも活用される。	「ひこぼしくん」のキャラクターを菓子類や包装紙類・キャラクターグッズ販売などの使用を広く推進するとともに、着ぐるみについても各種イベントでの活用などに向けて、情報発信を行う。		
指標設定②	指標説明	枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績(自発的な活動含む)のうち、新聞、テレビなどメディアに取り上げられた件数	「ひこぼしくん」のキャラクター及び着ぐるみの貸出件数(庁内外)	枚方の魅力をPRするひこぼしくん公式Twitterのフォロワー数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2: - R3: 5 R4: 5 R5: 5	R2: 200 R3: 220 R4: 230 R5: 240	R2: 750 R3: 1,250 R4: 1,500 R5: 1,750
	達成度	520%	34%	88%
	分析	パンサーズとの連携など特色ある取り組みを積極的PRし、多数のメディアに取り上げられた。	新型コロナの影響によりイベント貸出が伸びなかったことが考えられる。	ツイート頻度を高めることでフォロワー数増加につなげた。
	単位	件	件	人

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		取り組みが市内外に発信され枚方市に対する興味・関心を持つ。				枚方市の映像を見ることにより、本市の魅力が伝わり共感する。				枚方市テーマソングなど枚方市の魅力発信となる映像を制作する。			
指標設定③	指標説明	枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績(自発的な活動含む)のうち、新聞、テレビなどメディアに取り上げられた件数				Youtube枚方市チャンネル登録者数				Youtube枚方市チャンネルへの映像配信数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	単位 人				単位 人				単位 件			
	目標(見込)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	-	5	5	5	1,500	2,500	3,000	3,500	12	12	12	12
	達成度	520%				325%				858%			
	分析	パンサーズとの連携など特色ある取り組みを積極的PRし、多数のメディアに取り上げられた。				公式SNSでの動画PRを積極的に行い、PRチャンネル登録者数が増加した。				コロナのためプロモーションのためのイベント出展等が制限された中、動画制作に注力して配信数を伸ばした。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	21,607		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	21,607		
	物件費計	—	—	652	1,467	44%
	歳出計	—	—	22,259		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	652	1,467	

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での取り組みが減少した半面、動画を多く配信したため、YouTube登録者数が大幅に増加した。パンサーズをはじめ多くのPR動画に市PR大使の協力も得たこともあり、連携実績も増加している。ひこぼしくんの着ぐるみ貸し出しはコロナの影響等により伸びなかったが、ひこぼしくん公式ツイッターのフォロワー数は増加しており、インターネット上のPR効果が出ていると思われる。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	コロナの動向を見極めながら効果的な魅力発信に向け取り組みを進めるとともに、ひこぼしくんの認知度を高める取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ふるさと寄附金推進事業										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	-
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	現在市外に住んでいる枚方出身者や枚方にゆかりのある方。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	枚方市に愛着や思い入れがあるにも関わらず、遠方に住んでいることで故郷との関係性が薄くなっている。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々な事情で地元を離れざるを得なくなった方も、愛着のある地元へふるさと寄附を通して応援、地域貢献を行うことで繋がりができ、シビックプライドの醸成へつなげている状態。
------------------------	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと寄附金基金担当課、関係課及び返礼品協力事業者との連絡・調整 返礼品の開発審査及び決定・返礼品協力事業者の開拓、審査及び決定等 業務委託事業者の調査、契約事務 ふるさと納税専門ポータルサイトの管理 ふるさと寄附金を通じた魅力の発信
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)			
	様々な事情で地元を離れざるを得なくなった方も、愛着のある地元へふるさと寄附を通して応援、地域貢献を行うことで繋がりができ、シビックプライドの醸成へつなげる。	枚方市へふるさと寄附がなされる。	枚方市へのふるさと寄附の増加に向けて、ふるさと寄附に関する情報発信を行う。			
指標設定	指標説明	枚方市へのふるさと寄附金額	枚方市へのふるさと寄附件数	ふるさと寄附に関する情報発信数(プレスリリース、外部メディアへの掲載)		
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標		
	指標数値	単位 千円	単位 件	単位 回		
	目標 (見込み)	R2: 68,127 R3: 73,712 R4: 80,413 R5: 87,114	R2: 3,050 R3: 3,300 R4: 3,600 R5: 3,900	R2: 3 R3: 4 R4: 5 R5: 6		
	実績	350,041 137,519	3,926 3,745	11 19		
達成度	187%		113%		475%	
分析	令和2年度は個人の大型寄附があったため大きく減少しているが、目標額は大きく上回っている。	目標は上回ったが昨年度に比べ減少したことから、より多くの人に利用いただくための強化が必要。	オンラインイベントへの出展など返礼品PRの強化に取り組んだ。パンサーズのレシーブ体験のメディア露出が多く件数は増加した。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.65
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,701	11,963	7,857		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,433	822	1,393		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	11,134	12,785	9,250		
	物件費計	41,940	34,457	39,343	51,480	76%
	歳出計	53,074	47,242	48,593		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	53,074	34,457	39,343	51,480	

5. 総括的分析

総括的分析 寄附金額、寄附件数とも目標値を上回ったが、いずれも前年度実績を下回った。引き続き新たな返礼品の開拓をはじめ事業の強化が必要。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	新たなポータルサイトの導入など、寄附金額・件数の拡大に向けた取り組みを幅広く進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		広報プロモーション課運営事務														
測定年度	2021(R3)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課					
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4								
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外													
	施策目標		99.施策体系外													
	実行計画名															
1. 事務事業の概要																
種類	内部管理				特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	不明				年度	~				年度まで						
根拠法令等	決裁															
関係補助金名称											サンセット					
関係附属機関名称																
事業対象	メインターゲット		広報プロモーション課職員・職場。													
	サブターゲット															
	ターゲットが抱える課題		広報プロモーション課における事業が円滑に執行できない。													
	ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	広報プロモーション課の各事業等が円滑に執行出来ている状態。															
事業概要	市議会に関する連絡調整。災害時における情報の市ホームページ掲載、報道機関への連絡など広報活動。庁内外への照会・回答処理。財務・会計・契約・文書管理。北河内7市で構成する北河内広報連絡協議会の運営事務等。															
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)					
指標設定	指標説明		単位					単位					単位			
	指標種類															
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
		目標 (見込み)														
	実績															
	達成度															
分析																

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	13,388	5,981	7,857		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	13,388	5,981	7,857		
	物件費計	727	405	457	480	95%
	歳出計	14,115	6,386	8,314		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	14,115	405	457	480	

5. 総括的分析

総括的分析	市民の快適な暮らしに向け、各種媒体(広報ひらかた、ホームページ、SNS等)を用いてまちの情報を発信した。関心が高い新型コロナウイルス関連情報については、市内の発生状況を、ホームページ、LINE、ツイッター上で毎日発信した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、市民が必要とする情報を迅速に発信する。